

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年8月7日

上場会社名 三浦工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6005 URL <http://www.miuraz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 宮内 大介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 下坂 正 TEL 089-979-7012

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,264	△5.2	2,561	△17.4	2,646	△19.8	1,916	△20.6	1,927	△19.3	656	△67.3
2019年3月期第1四半期	28,755	38.2	3,103	45.0	3,299	44.4	2,414	56.9	2,389	57.4	2,005	14.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.12	17.08
2019年3月期第1四半期	21.23	21.18

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	175,243	123,819	123,794	70.6
2019年3月期	174,161	125,298	125,262	71.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	19.00	33.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	16.00	—	19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	3.6	8,300	3.5	8,400	1.1	6,100	2.8	54.19
通期	144,000	3.7	17,500	4.9	17,800	3.9	12,800	4.2	113.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無



そのひらめきに、愛はあるか。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	125,291,112株	2019年3月期	125,291,112株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	12,717,464株	2019年3月期	12,717,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	112,573,648株	2019年3月期1Q	112,541,642株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。



そのひらめきに、愛はあるか。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、景況感の悪化は見られたものの、設備投資は底堅く推移しました。海外においては、米国経済が堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の深刻化や中東情勢の緊迫化など、先行きの不透明感は依然として高まっています。

このような状況の中で当社グループは、「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します。」の企業理念のもと、さまざまな製品、サービスの国内外への展開、最新技術を含め、お客様の信頼に一層お応えできる「トータルソリューション」の提案活動を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、国内においてはメンテナンス事業が堅調に推移しましたが、ボイラ事業においては、季節的な需要の変動要因もあり、例年と同様に低調に推移しました。ランドリー事業においては、前年度に比べ低調に推移しましたが、設備需要は引続き堅調に推移しております。海外においてもメンテナンス事業は堅調に推移しましたが、中国経済の減速も影響しボイラ販売が低調に推移しました。利益面につきましては、売上が低調であったこと、そして人件費の増加もあり減益となりました。この結果、売上収益は27,264百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は2,561百万円(前年同期比17.4%減)、税引前四半期利益は2,646百万円(前年同期比19.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,927百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

セグメントの経営成績の状況は、以下のとおりであります。

#### ①国内機器販売事業

国内機器販売事業は、例年第1四半期においては、小型貫流ボイラ及び関連機器の設備投資が落ち込むため、売上が低調に推移しました。メディカル機器におきましては高圧蒸気滅菌機が堅調に推移しましたが、その他のメディカル機器は低調に推移しました。ただし小型貫流ボイラ及び関連機器、メディカル機器においては、設備投資需要は引続き堅調に推移しております。この結果、当事業の売上収益は10,472百万円と前年同期(10,871百万円)に比べ3.7%減となりました。セグメント利益につきましては、ベースアップや増員などにより人件費が増加しましたが、バラスト水処理装置のUSCG(米国沿岸警備隊)型式認証の試験関係の研究費が減少したことにより202百万円と前年同期(200百万円)に比べ0.9%増となりました。

#### ②国内メンテナンス事業

国内メンテナンス事業は、有償保守契約取得の積極的な活動により売上を伸ばしました。またメンテナンス拠点の連携による提案強化により部品などの売上を伸ばしました。この結果、当事業の売上収益は7,690百万円と前年同期(7,418百万円)に比べ3.7%増となりました。セグメント利益につきましては、1,992百万円と前年同期(2,155百万円)に比べ7.6%減となりました。

#### ③国内ランドリー事業

国内ランドリー事業は、前年度の反動もあり低調に推移しましたが、人件費や物流コスト上昇に伴う省力化・省人化に伴う設備需要は引続き堅調に推移しております。この結果、当事業の売上収益は4,594百万円と前年同期(5,799百万円)に比べ20.8%減となりました。セグメント利益につきましては、無形資産の償却を含め335百万円と前年同期(555百万円)に比べ39.7%減となりました。

#### ④海外機器販売事業

海外機器販売事業は、中国、米州においてボイラ販売が低調に推移しました。この結果、当事業の売上収益は3,202百万円と前年同期(3,373百万円)に比べ5.1%減となりました。また、増員などにより人件費が増加したため、セグメント損失は66百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

#### ⑤海外メンテナンス事業

海外メンテナンス事業は、各国とも有償保守契約の積極的な取得により契約件数を増やしました。この結果、当事業の売上収益は1,292百万円と前年同期(1,276百万円)に比べ1.2%増となりました。セグメント利益につきましては、増員などにより人件費が増加したため、61百万円と前年同期(135百万円)に比べ55.0%減となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,258	29,280
営業債権及びその他の債権	41,474	35,271
その他の金融資産	8,146	9,532
棚卸資産	19,179	23,009
その他の流動資産	735	769
流動資産合計	103,793	97,864
非流動資産		
有形固定資産	40,499	40,579
使用权資産	—	7,580
のれん及び無形資産	13,838	13,754
その他の金融資産	10,607	10,166
退職給付に係る資産	2,041	2,042
繰延税金資産	2,990	3,200
その他の非流動資産	390	55
非流動資産合計	70,367	77,379
資産合計	174,161	175,243

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	—	2,469
営業債務及びその他の債務	15,406	14,821
その他の金融負債	1,812	1,667
未払法人所得税等	3,314	1,023
引当金	1,093	1,003
契約負債	9,982	11,527
その他の流動負債	12,601	9,784
流動負債合計	44,212	42,297
非流動負債		
リース負債	—	4,947
その他の金融負債	2,003	1,625
退職給付に係る負債	370	350
引当金	1	1
繰延税金負債	1,966	1,922
その他の非流動負債	309	279
非流動負債合計	4,651	9,126
負債合計	48,863	51,423
資本		
資本金	9,544	9,544
資本剰余金	10,772	10,793
利益剰余金	111,144	110,917
自己株式	△7,000	△7,000
その他の資本の構成要素	801	△458
親会社の所有者に帰属する持分合計	125,262	123,794
非支配持分	35	25
資本合計	125,298	123,819
負債及び資本合計	174,161	175,243

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	28,755	27,264
売上原価	17,405	15,995
売上総利益	11,349	11,269
販売費及び一般管理費	8,536	8,966
その他の収益	335	289
その他の費用	45	30
営業利益	3,103	2,561
金融収益	206	146
金融費用	10	61
税引前四半期利益	3,299	2,646
法人所得税費用	884	729
四半期利益	2,414	1,916
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,389	1,927
非支配持分	24	△10
四半期利益	2,414	1,916
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	21.23円	17.12円
希薄化後1株当たり四半期利益	21.18円	17.08円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	2,414	1,916
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△258	△363
純損益に振り替えられることのない項目合計	△258	△363
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△150	△897
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△150	△897
税引後その他の包括利益	△408	△1,260
四半期包括利益	2,005	656
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,981	667
非支配持分	24	△10
四半期包括利益	2,005	656



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産	
2018年4月1日	9,544	10,489	101,905	△7,019	2,906	
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,544	10,489	101,905	△7,019	2,906	
四半期利益	—	—	2,389	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	△258	
四半期包括利益合計	—	—	2,389	—	△258	
ストック・オプション発行に伴う報酬費用	—	21	—	—	—	
配当金	—	—	△1,913	—	—	
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	
自己株式の処分	—	7	—	5	—	
所有者との取引額等合計	—	28	△1,913	5	—	
2018年6月30日	9,544	10,517	102,382	△7,014	2,647	

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
在外営業 活動体の 換算差額	合計	合計			
2018年4月1日	△343	2,562	117,482	241	117,723
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	△343	2,562	117,482	241	117,723
四半期利益	—	—	2,389	24	2,414
その他の包括利益	△150	△408	△408	△0	△408
四半期包括利益合計	△150	△408	1,981	24	2,005
ストック・オプション発行に伴う報酬費用	—	—	21	—	21
配当金	—	—	△1,913	△3	△1,916
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	12	6	19
所有者との取引額等合計	—	—	△1,879	3	△1,876
2018年6月30日	△494	2,153	117,583	269	117,852

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素
2019年4月1日	9,544	10,772	111,144	△7,000	1,386
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△15	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,544	10,772	111,128	△7,000	1,386
四半期利益	—	—	1,927	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△363
四半期包括利益合計	—	—	1,927	—	△363
ストック・オプション発行に伴う報酬費用	—	20	—	—	—
配当金	—	—	△2,138	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	20	△2,138	△0	—
2019年6月30日	9,544	10,793	110,917	△7,000	1,023

	親会社の所有者に帰属する持分				
	在外営業 活動体の 換算差額	合計	合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日	△584	801	125,262	35	125,298
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△15	—	△15
会計方針の変更を反映した当期首残高	△584	801	125,246	35	125,282
四半期利益	—	—	1,927	△10	1,916
その他の包括利益	△897	△1,260	△1,260	0	△1,260
四半期包括利益合計	△897	△1,260	667	△10	656
ストック・オプション発行に伴う報酬費用	—	—	20	—	20
配当金	—	—	△2,138	—	△2,138
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2,118	—	△2,118
2019年6月30日	△1,482	△458	123,794	25	123,819

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	リースに関する会計処理の改訂

当社グループは、IFRS第16号「リース」(2016年1月公表、以下「IFRS第16号」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

当社グループでは、経過措置に従ってIFRS第16号を遡及適用し、適用開始の累積的影響を当第1四半期連結会計期間の利益剰余金期首残高の修正として認識する方法を採用しております。

IFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、IAS第17号「リース」(以下「IAS第17号」という。)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。

過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、IFRS第16号の適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。リース負債は、残存リース料を適用開始日における借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しております。使用権資産は、リース負債の当初認識測定額に前払リース料等を調整した額で当初の測定を行っております。

過去にIAS第17号を適用してファイナンス・リースに分類した借手としてのリースについては、IFRS第16号の適用開始日の使用権資産及びリース負債の帳簿価額をそれぞれ、その直前の日におけるIAS第17号に基づくリース資産及びリース債務の帳簿価額で算定しております。

なお、当社グループは、リース期間が12ヶ月以内の短期リース及び少額資産リースについてIFRS第16号の免除規定を適用し、使用権資産及びリース負債を認識しないことを選択しております。当社グループは、これらのリースに係るリース料をリース期間にわたり定額法により費用として認識しております。

IFRS第16号の適用により、従前の会計基準を適用した場合と比べて、当第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産が6,790百万円、リース負債が6,841百万円、それぞれ増加しております。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主にボイラ、ランドリー機器及び関連機器等の製造販売・メンテナンスを手がけており、国内事業は当社及び国内連結子会社が、海外事業は海外連結子会社が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取扱い製品について各地域から包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、製造販売・メンテナンス体制を基礎として国内・海外事業別のセグメントから構成されており、「国内機器販売事業」「国内メンテナンス事業」「国内ランドリー事業」「海外機器販売事業」「海外メンテナンス事業」を報告セグメントとしております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、セグメント間の内部売上収益及び振替高は、市場実勢価格を勘案して決定された金額に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約 四半期 連結損益 計算書 計上額
	国内 (注) 1			海外 (注) 1						
	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業	ランド リー 事業	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業					
売上収益										
外部顧客への売上収益	10,871	7,418	5,799	3,373	1,276	28,738	16	28,755	—	28,755
セグメント間の内部売上 収益及び振替高	833	30	5	65	4	938	112	1,050	△1,050	—
計	11,704	7,448	5,804	3,438	1,280	29,677	128	29,805	△1,050	28,755
セグメント利益又は損失 (△)	200	2,155	555	△6	135	3,041	24	3,066	36	3,103
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,299

(注) 1 報告セグメントの「国内」の区分は当社及び国内連結子会社、「海外」の区分は海外連結子会社の事業活動に係るものであります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループが行っている不動産管理、保険代理業等を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約 四半期 連結損益 計算書 計上額
	国内 (注) 1			海外 (注) 1						
	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業	ランド リー 事業	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業					
売上収益										
外部顧客への売上収益	10,472	7,690	4,594	3,202	1,292	27,251	13	27,264	—	27,264
セグメント間の内部売 上収益及び振替高	729	32	0	70	33	866	120	986	△986	—
計	11,202	7,722	4,595	3,272	1,325	28,117	133	28,251	△986	27,264
セグメント利益又は損失 (△)	202	1,992	335	△66	61	2,525	9	2,534	26	2,561
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	146
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,646

(注) 1 報告セグメントの「国内」の区分は当社及び国内連結子会社、「海外」の区分は海外連結子会社の事業活動に係るものであります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループが行っている不動産管理、保険代理業等を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。